

以来、採集記録は Habu (1978), 吉武ら (2011), 初宿 (2012) と報告されているが、いずれも奄美大島からの記録で、奄美大島固有種と考えられていた。筆者は沖縄島から採集された本種を検したのて報告する。

3 ♀, 沖縄県国頭郡東村高江, 4. II. 2013, 岸田泰則採集; 1♂1♀, 同地, 17. II. 2013, 岸田泰則採集。

いずれの個体も森林内に設置したライトトラップに飛来したもので、気温の低い2月の初旬から中旬に活発に飛翔していることは注目される。なお、2月4日の同じ採集ではオオアオモリヒラタゴミムシ *Colpodes buchanani* Hope も 3♂3♀ がライトトラップに飛来した。本種は沖縄島ではよく見られ、よく似た2種がそろって冬期に活動していることに興味を持たれる。

この採集地付近は、米軍輸送機オスプレイの着陸帯として工事が進められつつある地域である。工事と大型機の発着により、先に報告したケナシツヤヒラタゴミムシやリュウキュウカワツブゴミムシ等とともに、沖縄ではこの地域だけにしか記録のないゴミムシ類の生息環境の破壊が心配される。

本種の奄美大島における採集地は、いずれも島の中南部の山間部に位置する住用村八津野(当時の地名)で、本種の記録された当時は大規模な原生林の伐採が行われていた地域である。記載に用いられたタイプ標本等はその時期に採集されたものである。本種が記録された奄美大島と沖縄島の二つの地域において、最初に記録された時の条件が、いずれも開発という名で森林の喪失しつつある時であることが符合している。このような時のみ希少な種が見いだされるというのは悲しい。

報告にあたり、貴重な標本を発表する機会を与えられた岸田泰則氏、今回の冬期の調査を計画された宮城秋乃氏、また森正人氏には同定と文献をご教示いただいたことを記して各位に厚くお礼申し上げます。

引用文献

- Habu, A. 1975. On the species of the *sylyphis*-group of *Platynus*, mainly on the *sylyphis* complex of Japan. Ent. Rev. Japan, 28(1/2): 19–23
- Habu, A. 1978. Fauna Japonica Carabidae: Platynini (Insecta: Coleoptera). Keigaku Publishing, 447 pp.
- 吉武 啓・栗原 隆・吉松慎一・中谷至伸・安田耕司, 2011. 研究資料農業環境技術研究所蔵の土生翅甲コレクション(昆虫綱: コウチュウ目: オサムシ科) 標本目録. 農業環境技術研究報告, (28), 327 pp., 独立行政法人農業環境技術研究所.
- 初宿成彦編, 2012. 大阪市立自然史博物館所蔵甲虫類目録(2). 大阪市立自然史博物館収蔵資料目録代 44 集, p. 5–170.

大阪市立自然史博物館.

(楠井善久 903-0805 那覇市首里鳥堀町 4-123-1 東苑荘 1-E)

【短報】久米島のゴミムシダマシ(ゴミムシダマシ亜科)の採集記録

2010年6月14～17日に久米島で採集したゴミムシダマシ科15種の記録を報告する。佐藤(1996, 2006)によると、同島からはゴミムシダマシ亜科40種が記録されており、今回報告する種の中の6種については、同島における未記録種(*)と思われる。

近藤茂昭氏・益本仁雄博士に同定頂いた。ここに深謝申し上げます。

1. アマミホソゴミムシダマシ *Corticeus amamiensis* (Kaszab, 1964)*
1ex., 宇江城, 16. VI. 2010. 1ex., 嘉手苺, 17. VI. 2010. 1ex., ダルマ山, 16. VI. 2010.
2. アメイロホソゴミムシダマシ *Corticeus gentilis* Lewis, 1894*
7exs., ダルマ山, 16. VI. 2010. 2exs., 宇江城, 16. VI. 2010. 1ex., 嘉手苺, 17. VI. 2010.
3. イシガキホソゴミムシダマシ 八重山亜種 *Corticeus maehleri mayumiae* (Masumoto, 1983)*
1ex., 仲地, 16. VI. 2010.
4. ナガニジゴミムシダマシ *Ceropria induta induta* (Wiedemann, 1819)
1ex., ダルマ山, 14. VI. 2010. 4exs., 嘉手苺, 15. VI. 2010. 1ex., 宇江城, 16. VI. 2010.
5. モンキゴミムシダマシ 南西諸島亜種 *Diaperis lewisi intersecta* Gebien, 1914
5exs., 嘉手苺, 15. VI. 2010. 6exs., 嘉手苺, 17. VI. 2010.
6. アオツヤキノコゴミムシダマシ *Platydemum marseuli* Lewis, 1894
1ex., ダルマ山, 14. VI. 2010. 23exs., 宇江城, 15. VI. 2010.
7. ザウテルキノコゴミムシダマシ 琉球亜種 *Platydemum sauteri omoto* Nakane, 1973*

- 1ex., 宇江城, 15. VI. 2010.
8. ベニモンキノコゴミムシダマシ *Platydemia subfascia subfascia* (Walker, 1858)
5exs., ダルマ山, 14. VI. 2010. 2exs., 嘉手苺, 15. VI. 2010. 8exs., 嘉手苺, 17. VI. 2010.
9. ヒメオオニジゴミムシダマシ *Euhemicera hajimei* (Masumoto, 1983)
1ex., ダルマ山, 14. VI. 2010. 3exs., 宇江城, 15. VI. 2010. 2exs., 仲地, 16. VI. 2010. 1ex., ダルマ山, 16. VI. 2010. 2exs., 嘉手苺, 16. VI. 2010. 1ex., 嘉手苺, 17. VI. 2010.
10. ズビロキマワリモドキ沖縄亜種 *Gnesis helopioides okinawanus* (Nakane, 1968)
1ex., 宇江城, 15. VI. 2010. 2exs., 鳥の口, 15. VI. 2010. 5exs., 宇江城, 16. VI. 2010.
11. ルリスジキマワリモドキ *Pseudonautes purpurivittatus* (Marseul, 1876) *
1ex., 宇江城, 16. VI. 2010. 2exs., 仲地, 16. VI. 2010.
12. カラカネチビキマワリモドキ *Tetragonomenes palpaloides* (Nakane, 1963)
8exs., ダルマ山, 14. VI. 2010. 1ex., 宇江城, 15. VI. 2010. 1ex., 宇江城, 16. VI. 2010. 2exs., 仲地, 16. VI. 2010. 6exs., 嘉手苺, 17. VI. 2010. 1ex., 比屋定, 17. VI. 2010.
13. ハラアカチビキマワリモドキ *Tetragonomenes rufiventris* (Kaszab, 1964) *
6exs., 宇江城, 15. VI. 2010. 1ex., 宇江城, 16. VI. 2010.
14. オオクビカクシゴミムシダマシ *Stenochinus carinatus carinatus* (Gebien, 1914)
6exs., 空港付近, 14. VI. 2010. 4exs., ダルマ山, 14. VI. 2010. 5exs., 宇江城, 15. VI. 2010. 1ex., 嘉手苺, 15. VI. 2010. 2exs., 宇江城, 16. VI. 2010. 1ex., ダルマ山, 16. VI. 2010. 3exs., 仲地, 16. VI. 2010. 7exs., 嘉手苺, 17. VI. 2010.
15. セスジナガキマワリ *Strongylium cultellatum cultellatum* Maklin, 1864
1ex., 空港付近, 14. VI. 2010. 1ex., 宇江城, 16. VI. 2010. 1ex., 嘉手苺, 17. VI. 2010.

16. クメジマキマワリ *Plesiophthalmus kumejimanus* Masumoto, 1987
1ex., ダルマ山, 14. VI. 2010.

引用文献

- 佐藤文保, 1996, 「久米島の自然」久米島総合調査報告書, 26-61.
佐藤文保, 2006, 久米島の昆虫リスト, 久米島自然文化センター, (6) 57-87.

(中村俊彦 104-0045 東京都中央区築地 2-1-12)

【短報】伊豆諸島からのカミキリムシ2種の記録

伊豆諸島のカミキリムシ科甲虫相に関しては、ごく最近、藤田(2012)が近年の記録を含めてまとめ直している。筆者は、その中になく記録として、ベーツヒラタカミキリ *Eurypoda batesi* Gahan, 1894 を利島から、また、キイロアラゲカミキリ *Penthides rufoflavus* Matsushita, 1933 を青ヶ島からそれぞれ採集しているため、古い採集記録も含まれていて恐縮だが、ここに報告する。

ベーツヒラタカミキリ *Eurypoda batesi* Gahan, 1894 (図1)

1♂, 東京都利島北西部. 26-VI-2012.

島の北西部にある清掃工場の灯りに飛来していたものを採集した。ツバキの植林地が大部分を占める利島にあって、この採集地の周辺には本種の生息に適した比較的良好な状態の自然林が残されている。



図1. 利島産ベーツヒラタカミキリ♂。

キイロアラゲカミキリ *Penthides rufoflavus* (Hayashi, 1957) (図2)

1♂ 1♀, 東京都青ヶ島三宝港付近. 17-III-1987 (材採取), VII-1987, 死体回収。

当時、大学の教養生だった筆者は伊豆諸島に通う中で、春休みを利用して青ヶ島に初めての渡航を試みたが、悪天候で当時唯一の渡航手段であっ